

認知症の人とその家族が 住み慣れた地域で、安心 して暮らし続けるために

問合せ 地域包括支援センター

認知症はだれにでも起こり得る脳の病気で、85歳以上の4人に1人にその症状があると言われています。認知症になっても、正しい知識と適切な対応・援助を受けることで、その人らしい生活を続けることができます。市では認知症の人とその家族が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、「認知症初期集中支援チーム」を設置しています。

こんなとき、お手伝いします

- ・もしかして認知症かもしれない
- ・心配だけど、どうしたらよいかわからない
- ・認知症の症状が強く、介護や対応に困っている

認知症初期集中支援チームとは

認知症の人とその家族に対して早期に関わり、支援することを目的に、専門医や看護師、介護福祉士、社会福祉士で構成されたチームです。チーム員が自宅を訪問し、ケアや介護サービス利用などについてアドバイスします。また、かかりつけ医と連携を図り、早期診断・早期対応につなげ、認知症になっても住み慣れた地域で、安心して暮らせる体制づくりをお手伝いします。1人で悩まず、是非ご相談ください。

認知症に関する相談窓口

地域包括支援センターでは、認知症予防のための取組みから、介護保険サービスの受け方、成年後見制度など、認知症の人とその家族の支援のための情報提供などを行っています。担当地区エリアの地域包括支援センターへ気軽にお問い合わせください。

大浜・中央地区	地域包括支援センター	市役所1階	月～金曜日
旭・棚尾地区	碧南東部地域包括支援センター	東部市民プラザ	火～土曜日 ☎(93)1191 9時～17時
新川・西端地区	碧南社協地域包括支援センター	へきなん福祉センターあいくる	月～金曜日 ☎(46)3840 9時～17時

チェックしてみよう「認知症」

加齢によるもの忘れと認知症の違いをチェックしてみましょう。

物忘れ	認知症
人の名前が思い出せない	その人がだれか分らない
曜日・日時を間違える	月・季節を忘れる
約束をうっかり忘れる	約束自体を忘れる
物覚えが悪い	数分前の記憶がない

認知症簡易チェックシステムは、QRコードを読み込みアクセスするか高齢介護課ホームページをご覧ください。

※利用料は無料ですが、通信料は自己負担になります。なお、個人情報の入力不要です。



認知症初期集中支援チームの働き

